

2022年1月17日

名古屋大学認証基盤サービス 利用者各位

名古屋大学認証基盤サービスの停止、及び東海国立大学機構統合認証サービス(仮称)の提供計画について

情報推進部長 相原 雪乃

平素より情報連携推進本部の活動にご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、東海国立大学機構の発足、そして機構が掲げる「デジタルユニバーシティ構想」の実現に向け、岐阜大学・名古屋大学双方より利用できる、新しい情報システムの検討が進められています。中でも統合認証基盤は多くの情報システムの根幹をなすことから、機構 Microsoft 365 とともに、早期に構築、提供できるよう整備を進めさせていただいている状態です。

そこで、名古屋大学情報連携推進本部及び機構情報連携統括本部では「名古屋大学 ID に基づく統合認証サービスの段階的縮小」と、これに代わる「東海国立大学機構統合認証サービス(仮称)の提供」を別紙の要領で実施する計画です。

新旧認証機能の違いから、名古屋大学統合認証サービスをご利用の皆様には、大幅なシステム変更のお願いをすることとなりますが、ご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。なお、システム変更については、情報連携推進本部より、技術面、資金面双方における支援プログラムを計画しております。これについては、追ってご連絡差し上げる予定です。

本件に対するお問い合わせ先

情報推進部 情報基盤課 認証基盤サービス担当 柘植、佐々木

メール：ldap-cas-tanto@icts.nagoya-u.ac.jp 内線：4376、4381

別紙 1: 名古屋大学認証基盤サービスの停止計画について

別紙 2: 東海国立大学機構統合認証サービス(仮称)の提供について

別紙 3: 名大統合認証から機構統合認証への切り替えイメージ

参考資料:

機構アカウントの運用開始について

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/thersac/index.html>

名古屋大学認証基盤サービスの停止計画について

「名大 ID 認証の安全性強化」と、「機構統合認証サービス(仮称)への切り替え」という 2 つの理由により、以下の対応をお願いいたします。

1. 2022 年 3 月末まで

名大多要素認証 CAS への切り替え

名古屋大学 ID での認証の安全性強化のため、多要素認証機能を追加した CAS(多要素認証 CAS)を導入しました。現在 CAS を利用しているシステムは、連携先を多要素認証 CAS に切り替えてください。

詳細については別の依頼文にて通知しております。

名大 LDAP でのパスワード認証機能の停止(学外向けサービスを対象)

セキュリティ対策強化が技術的に困難な LDAP による単純なパスワード認証の利用を停止いたします。学外からの利用において、LDAP 認証によりアクセスを許可しているシステムについては、VPN の導入等、学外からの利用を制限する措置を取ってください。

2. 2023 年 3 月末まで(約 1 年後)

名大 LDAP でのパスワード認証機能の停止(学内利用を含む全サービスを対象)

学外向けサービスに加え、学内利用のサービスについても、LDAP による単純なパスワード認証の提供を停止します。名大 ID に基づく多要素認証 CAS、あるいは機構アカウントに基づく機構統合認証サービスへの切り替えを実施してください。

3. 2025 年 3 月末まで(約 3 年後)

名大多要素認証 CAS、名大 LDAP の停止

機構統合認証サービスの提供開始に合わせ、名大 ID による統合認証サービスを縮小、停止します。

この時点までに、名大 ID を用いるすべてのサービスは、機構統合認証サービスへの切り替えを実施していただくこととなります。

以上

東海国立大学機構統合認証サービス(仮称)の提供について

1. サービス概要

- 2021年7月より、東海国立大学機構 Microsoft 365(機構 MS365)利用のために配布している、「機構アカウント(ab.12c.3456@f.thers.ac.jp)」を用いた統合認証サービスです。
- 名古屋大学、岐阜大学の構成員に対し、
 - 多要素認証の標準適用
 - SAMLに基づくシングルサインオン(Azure AD または Shibboleth)
 - 機構 LDAP によるアカウント属性情報(姓名、身分、所属等)を提供します。

2. 提供時期

2022年10月より、名古屋大学、岐阜大学双方にサービス提供を開始する予定です(2022年4月より情報連携推進本部でテスト利用を開始します。早期の検証を希望する場合、ご相談ください)。

3. 認証システム切り替えに伴う主な検討事項

名大 ID に基づく統合認証システムは 2025 年 3 月末での終了を予定しています。現行システムを機構統合認証サービスでも利用できるようにするには、認証方式、アカウント体系の変更等に伴うシステム改修が必要となります。改修にあたり検討事項として以下の点が挙げられます。

- CAS から SAML への認証プロトコルの変更
- 名大 ID(ab1234567)から機構アカウント(ab.12c.3456@f.thers.ac.jp)への ID 体系の変更(機構アカウントと名大 ID との対応関係は別途提供いたします)
- 東海国立大学機構、名古屋大学、岐阜大学を包括する組織、身分コードの変更
- 離籍者(OB、退職者等)に対するサービス提供体制の見直し。(離籍者は機構アカウントでの認証ができません。別の ID 体系、認証システムによる認証サービスを、離籍者を含む機構外利用者に提供する予定です)。

これらの技術的な詳細については、今後 Web による説明文書の提供や個別相談により対応いたします。

以上

名大統合認証から機構統合認証への切り替え

